

農村地域の防災減災対策の推進

【担当省庁】 農林水産省

奈良県における取り組み

ため池等の防災減災対策

(1) 台風21号による農地・農業施設災害の復旧予算確保に感謝

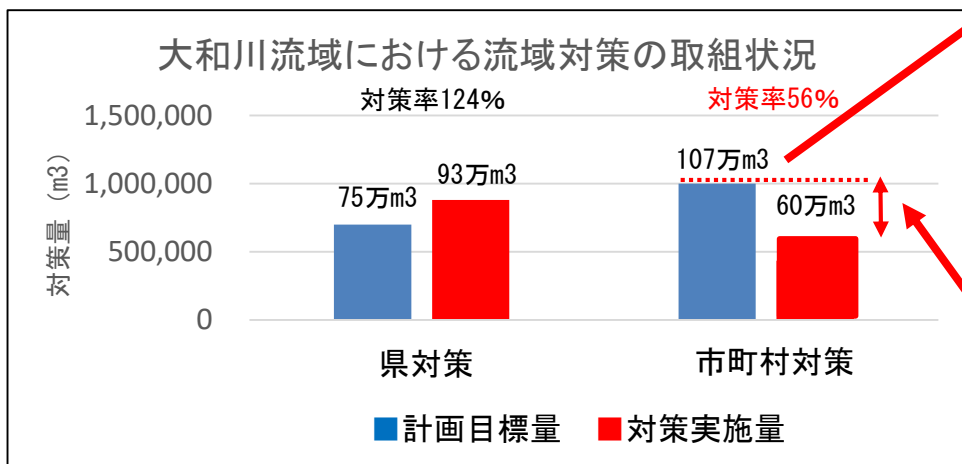
- 台風21号により柿園などの農地や農道などに発生した災害に対して、**復旧予算の確保や支援**をいただき、順次、農業が再開していることに感謝。

(2) 農村地域の防災減災対策

- ため池の一斉点検を踏まえ、奈良県では**防災重点ため池を114箇所選定**。
- 防災重点ため池の**ハザードマップを計画的に策定中**（81箇所策定済）。
- 防災重点ため池のうち、**被害想定の大いものから耐震調査（34箇所）を計画的に実施**。調査結果を踏まえ、必要のあるため池から整備を進める。
- 平成28年度「ため池群を活用した防災・減災事業」を制度化いただき、平成29年度より**葛城市で事業実施中**。

(3) ため池や水田の多面的機能を活かした治水利用の推進

- 奈良県では平成30年度より「**大和川流域における総合治水に関する条例**」を施行し、さらなる総合治水対策として、地域でためる内水対策を推進。**ため池の治水活用及び水田貯留を貯留対策の一つとして条例に位置づけ**。



大和川総合治水対策で対策量が示されている。

市町村の対策が遅れている。

余水吐への切り欠けや水田貯留で対策量を推進

H30.3現在
(奈良県河川課調べ)

国にお願いすること

ため池等の防災減災対策

■農村地域防災減災事業の予算確保

安全・安心な農村地域を実現するために、農村地域防災・減災事業予算を確実に配分いただきたい。

農村地域の防災機能向上のため、制度の継続と採択要件の緩和をお願いしたい。

- ・ 計画策定（調査計画事業）の定額助成の継続
- ・ ため池の余水吐改良など軽微な整備の採択要件の緩和
800万円以上 → 下限なし

* 軽微な余水吐改良：約100万円



余水吐に切欠設置
磯野池（大和高田市）

■ため池や水田の治水利用化の推進

本県ではため池の治水利用や水田貯留対策での取り組みを行いたい。

効果算出方法について

- 現行制度
農地防災減災事業では、実施地区毎に防災効果の算出が必要。



- 要望（計画）
総合治水対策の一環として対策量達成のための流域全体の取組として事業を実施。

